事業番号	02 01 01	事業改善シート (24年度実施事業分)		予算要求 🗆	予算案 ■点検	
事 業 名	ながの結婚・子育て応援事業			部局	企画部	
		ながり和姐・丁月(心抜手来	担当	課·室	企画課	
<参考> 総合5か年 計画	プロジェクト	活動人口増加プロジェクト	課	E-mail	kikaku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展	7-2 子育て先進県の実現				
	旭界の総合的展	^{1囲} 1 少子化対策の推進	Dill's	実施期間	H20 ~	

1 事業の概要

	○これまで個人の問題とされてきた結婚も子育て同様社会全体の問題と捉え、全ての県民が一体となって積極的に結婚・子育てを支援することにより、少子化傾向の改善を図る。 成果目標:15~49歳の男女について県の推計値を上回る婚姻者数(初婚) 男性 6,857人(H29推計値)+400人 女性 7,073人(H29推計値)+400人						
現状	○少子化の最大の要因は未婚者の増加であり、加えて夫婦間の平均出生子ども数が減少していることが挙げられる。○未婚者の増加は、お見合い結婚が減少し、これまでお見合い制度でカバーされていた「勇気がない、時間がない、出会いがない」男女が増加したことなどによることから、広く県民、企業等に参加を求め、新たな出会いの場を創出していく必要がある。						
県が関与 する理由	□法令等義務 □内部管理 □県でなければ実施不可 ■民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他()	【左記の説明、根拠法令等】 結婚・子育てを社会全体の問題と捉え、県民、企業・団体、市町村・社会福祉協議会、県がそれぞれの役割と分担により一体となって推進していく必要があるため。【次世代育成支援対策推進法、ながの子ども・子育て応援県民会議規約】					
	① 成里日搏(U24)						

・ながの子育て家庭優待パスポート事業の参加市町村と協賛店舗の拡大に取り組む。 ・ながの結婚支援ネットワーク参加団体とマッチングシステムの登録団体(登録者)拡大に取り組む。

② 事業内容 (単位:千円)

事業内容	項目	実施方法	実施方法 H24事業実績		H24		H25
	(大口)	天旭刀伝	[124 事 未关限		(当初)	(決算)	(当初)
	ながの子ども子育て応援県民 会議事業	補助	・ながの子ども・子育て応援県民会議を運営し、 じた連携・協働による取組を推進。総会1回、部会 二)各3回開催 ・パスポート事業の参加市町村は63→71市町村は3,144店舗→3,314店舗へ拡大した。	会(第一、第	1,031	923	781
	ながの結婚支援ネットワーク推進事業	補助	・結婚支援ネットワークの参加団体は33→38団体 グシステム登録団体は20→23団体に拡大した(3 →203)。		149	149	0
		補助	・結婚と子育てを社会全体で考える第一歩としてフォーラムを開催し、県をあげて結婚・子育てのよる。 ・県内の様々な団体等が応援を宣言し、行動する体で支えて行こうという気運を醸成する。	芯援を宣言す	0	0	682
	ながの出会い応援プロジェクト		・若者の出会いの機会を拡大し、結婚応援の総合調整を行うため、次の事業を実施する。 1. 若者の結婚をサポートする出会いサポーター(仮称)の募集・登録・活動支援 2. 結婚支援に関する情報が一目でわかりやすく提供できる情報発信サイトの構築 3. 異性とのコミュニケーション能力を向上させる婚活セミナーの開催		0	0	10,330
				合計	1,180	1,072	11,793

	즤	<u> </u>	分(単位:十円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	-		前年度繰越				
	予算		当初予算	29,068	6,711	1,180	11,793
事	額		補正予算				
業			合計(A)	29,068	6,711	1,180	11,793
*			国庫支出金	26,844	5,322	0	0
П	$\neg \mid A\sigma$		県 債				
_	財源	財源	その他				
ス			一般財源	2,224	1,389	1,180	11,793
۲	決	1	算 額(B)	28,221	6,169	1,072	
	概 第		職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50
			概算人件費 (C)	20,793	20,645	20,645	20,645
	概算	事	業費(B(A)+C)	49,014	26,814	21,717	32,438

成果目標の達成状況							
項目	現況		H25				
7只口	(見込)	目標	成果	達成状況	目標		
パスポート事業参加 市町村	63	68	71	達成	_		
パスポート事業協力店舗	3144	3200	3314	達成	_		
結婚支援ネットワークの参加団体	33	38	38	達成			

目標に対する成果

の状況

パスポート事業の参加市町村と協力店舗、結婚支援ネットワーク参加団体数の全てにおいて目標を達成できた。

2 今後の事業の方向性

今後、事業		
をどのよう にしていき	少子化の主たる要因は未婚者の 望者に対して更に踏み込んだ支)堆
たいか。	望者に対して更に踏み込んた文	.货

■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

増加と晩婚化の進展であり、個人の問題としてとらえてきた「結婚」を社会全体の問題として認識し、結婚希 爰を行うため、新年度より「ながの出会い応援プロジェクト」を実施する。